シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅱ		
必修選択	必修	（学則表記）	保健Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	保健Ⅱ		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。
評価基準	テスト：５0%　小テスト：３０％　　授業態度：20%
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する

担当教員	山本　和平	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	人体の構造および機能の復習 （第1章～2章）	美容師免許を取得する必要性 頭部・顔部・頸部の体表解剖学、骨格器系の演習（国家試験過去問題）と解説
2	人体の構造および機能の復習 （第3章～５章）	筋系、神経系、感覚器系の演習（国家試験過去問題）と解説
3	人体の構造および機能の復習 （第6章～8章）	血液・循環器系、呼吸器系・消化器系の演習（国家試験過去問題）と解説
4	皮膚科学（第１章）	皮膚の構造
5	皮膚科学（第２章）	皮膚付属機関の構造（毛）
6	皮膚科学（第２章～３章）	皮膚附属器官の構造（脂腺、汗腺、爪） および皮膚の循環器系と神経系
7	皮膚科学（第４章）	皮膚と付属器官の生理機能
8	総まとめ	テストを実施する

9	皮膚科学（第５章）	皮膚と皮膚付属器官の保健
10	皮膚科学（第６章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患 （皮膚の異常とその種類～皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹）
11	皮膚科学（第６章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患（日光皮膚炎～分泌異常による疾患）
12	皮膚科学（第６章）	皮膚と皮膚付属器官の疾患（化膿菌・ウイルス・真菌による皮膚疾患）
13	まとめ	まとめを実施する
14	解説 皮膚科学（第６章）	振り返り・解説 衛生害虫による皮膚疾患～皮膚の腫瘍
15	総まとめ	総まとめを行う
16	皮膚科学の復習（第１章～２章）	皮膚の構造と皮膚付属器官の構造の演習と解説
17	皮膚科学の復習（題３章～４章）	皮膚の循環器系と神経系および皮膚と付属器官の生理機能の演習と解説
18	皮膚科学の復習（第５章）	皮膚と付属器官の保健の演習と解説
19	皮膚科学の復習（第６章）	皮膚と付属器官の疾患の演習と解説
20	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
21	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
22	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
23	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
24	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
25	まとめ	まとめを実施する
26	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
27	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
28	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
29	人体保健および皮膚科学	模擬試験解説または国家試験過去問演習と解説、関連部教科書振り返り
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	美容技術理論Ⅱ		
必修選択	必修	（学則表記）	美容技術理論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	美容技術理論Ⅱ		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。
評価基準	テスト：５0%　小テスト：３０％　　授業態度：20%
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する

担当教員	小松田　健治	実務経験	○
実務内容	美容室にてスタイリストとして4年勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	≪ 8章　エステティック ≫ 1. エステティック概論 2. 皮膚の生理と構造	・エステティックの歴史、範囲、心得、注意点・皮膚の構造・カウンセリングの目的・実際、エステティックにおけるカウンセリング・基本手技
2	5. フェイシャルケア技術 6. フェイシャル及びデコルテマツサージ 7. フェイシャルパック　8. ボディケア技術	・フェイシャルの効果、方法・デコルテ、フェイシャルの手順 マッサージにおける手の動かし方と操作ポイント
3	≪ 9章　ネイル技術 ≫ 1. ネイル技術概論　2. ネイル技術の種類 3. 爪の構造と機能　4. 爪のカツト形状	・ネイルケア、アーティフィシャルネイル、ネイルアート・爪の構造と機能・爪のカット形状・消毒方法の種類、器具の消毒手順、テーブルセッティングの一例・カウンセリング
4	7. ネイルケア8. アーティフィシャルネイル 9. 手と足のマツサージ	・ネイルケアの道具、マニキュア・ペディキュア技術の手順・アーティフィシャルネイル技術の道具、プレパレーションの手順、ナチュラルネイルオーバーレイ技術の種類、ジェル技術の手順、シルクラップ技術の手順・グルー＆フィラー技術の手順、アーティフィシャルネイルの追加とオフ・ハンドマッサージのポイント・手順、フットマッサージのポイント・手順
5	≪ 10章　メイクアップ ≫ 1. メイクアップ概論2. .顔の形態学的な観察 3. メイクアップと色彩4. 皮膚の生理と構造	・メイクアップ概論（サロンワーク・スタジオワーク）・顔のプロポーション、顔の骨格と筋肉、顔の立体研究、メイクアップによる立体感、顔の凹凸に基づいたブロッキング・色の三属性、マルセル表色系による色の分類、 角度配色・皮膚の生理と構造・メイクアップの道具　・クレンジング、トーニング、プロテクティング・ファンデーションの目的・
6	8. アイメイクアップ　9. アイブロウメイクアップ 10. リツプメイクアップ　11. ブラツシュオン	アイライン、アイシャドー、カラーアイシャドー、パウダーアイシャドー、アイラッシュカール、マスカラ つけまつ毛のテクニック・眉の整え方、ドローイング、シェーディング ・リップの丸みのある描き方、鋭角的な描き方、、ブラッシュオンメイクアップ
7	総まとめ	テストを実施する　8章～10章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
8	≪ 11章　日本髪 ≫ 1. 日本髪の由来 2. 日本髪の各部の名称	・日本髪の由来・日本髪の各部の名称・日本髪の種類と特徴・日本髪と調和

9	5. 日本髪の装飾品 6. 日本髪の結髪道具 7. 日本髪の結髪技術	・日本髪の装飾品・日本髪の結髪道具・日本髪の結髪技術 ・日本髪の手入れ・かつら（かぶせ方、飾り方、付け方、簪の位置、外し方、持ち方、しまい方、手入れ）
10	≪ 12章　着付けの理論と技術 ≫ 1. 着付けの目的2. 礼装3. 着物と季節 4. 着物のいろいろ5. 帯6. 小物	・着付けの目的・女子礼装、男子礼装、礼装生地、準礼装、心得・着物と季節・着物のいろいろ・帯・小物の種類・着物の各部の名称・着物のたたみ方
11	9. 着付けの一般的要領10. 留袖着付け技術 11. 振袖着付け技術12. 帯締め、帯揚げの結び方	・体型補正、長襦袢の着付け・着物の着付け、帯結び・帯締めの結び方の一例、 帯揚げの結び方の一例、男子礼装羽織、袴着付け技術
12	14. 羽織のひもの結び方15. 女子袴着付け技術 16. 婚礼着付けの際の注意事項17. 和装花嫁 18. 洋装花嫁(ウエディングドレスの知識)	・羽織のひもの結び方・女子袴着付け技術・美容師自身の身だしなみ、不測の事態に備える、緊張をほぐすための細かい配慮、花嫁の動作に注意する、機敏な動作・和装花嫁・洋装花嫁
13	まとめ	まとめを実施する　11章～12章の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
14	解説	テストの振り返り・解説
15	美容技術理論Ⅱ 総まとめ	美容技術理論Ⅱ　総まとめを行う
16	美容技術理論Ⅰ 序章・1章	美容技術理論を学ぶにあたって・美容道具　重点項目振り返り
17	美容技術理論Ⅰ 2章・3章	シャンプーイング・ヘアデザイン　重点項目振り返り
18	美容技術理論Ⅰ 4章・5章	ヘアカッティング・パーマネントウエービング　重点項目振り返り
19	美容技術理論Ⅰ 6章・7章	ヘアセッティング・ヘアカラーリング　重点項目振り返り
20	美容技術理論Ⅰ 総まとめ	美容技術理論Ⅰ　総まとめを行う
21	対策	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
22	まとめ	まとめを実施する　美容技術理論Ⅰ・Ⅱ の国家試験出題傾向の高いものを重点的に出題
23	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
24	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
25	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	まとめ	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ 重点項目復習
27	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	各校フリー	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	関係法規・制度		
必修選択	必修	(学則表記)	関係法規・制度		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	関係法規・制度		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容の業に対する美容師法による規制と、行政による指導監督制度、およびその他の美容の業の関連法規に関する知識の習得を図る。
到達目標	美容の業に関する関係法規・諸制度のみならず、その前提となる法制度や衛生行政の知識を獲得し、国家試験に対応できる学力の習得を目的とする。
評価基準	テストおよび小テスト：８０パーセント　授業態度：２０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する

担当教員	中村　真弓	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 第1章　法制度の概要 第1節　第2節	美容師免許取得までの流れ、国家試験における関係法規の出題数や傾向の説明 社会における法の役割 日本の法令体系
2	第1章　法制度の概要 第3節　第4節	衛生法規の仕組み 美容師法と附属法令
3	第2章　衛生行政の概要 第1節　～　第3節	衛生行政を担う行政機関・保健所の役割
4	第3章　理容師法・美容師法　第1節	「美容師法」の目的
5	第3章　理容師法・美容師法　第2節	「美容師法」で用いられる用語の定義
6	第3章　理容師法・美容師法　第3節	美容師免許取得までの過程
7	まとめ	まとめを実施する。
8	解説	振り返り・解説

9	第3章　理容師法・美容師法　第3節	美容師に求められる義務
10	第3章　理容師法・美容師法　第3節	免許の変更等があったときの手続き
11	第3章　理容師法・美容師法　第3節	管理美容師
12	第3章　理容師法・美容師法　第4節	美容所の開設に必要な届出・検査
13	第3章　理容師法・美容師法　第4節	開設者が求められる義務および美容所以外での業務
14	まとめ	まとめを実施する。
15	解説・総まとめ	振り返り・解説
16	第3章　理容師法・美容師法　第5節	立入検査と環境衛生監視員
17	第3章　理容師法・美容師法　第6節	違反者に対する行政処分
18	第3章　理容師法・美容師法　第7節	違反者に対する罰則
19	第4章　関連法規	美容業の運営に関する関連法規
20	第4章　関連法規	美容業の衛生・顧客に関する関連法規
21	まとめ	まとめを実施する。
22	解説	振り返り・解説
23	第1章　第2章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
24	第3章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
25	第4章の復習	ワークブック等を用いて問題演習
26	まとめ	まとめを実施する。
27	解説	振り返り・解説
28	総復習（1）	国家試験過去問演習等
29	総復習（2）	国家試験過去問演習等
30	総まとめ	総まとめを実施する。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理		
必修選択	必修	（学則表記）	衛生管理		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	衛生管理		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけではなく、業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。
評価基準	テスト：５0%　小テスト：３０％　　授業態度：20%
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する

担当教員	山本　和平	実務経験	○
実務内容	薬剤師として５年勤務後保険調剤薬剤師として１年勤務。外部患者様向けの講習会等を行う。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編　公衆衛生 1章公衆衛生の概要	先輩や講師自身の話をする美容師免許を所得する上での必要性取得までの流れを説明 この教科で一番興味を持ちそうな話をする（身近な病気や生活習慣病など普段の生活に　近い話） 健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割
2	第1編　公衆衛生 2章保健	「母子保健」・「成人・高齢者保健」・「精神保健」
3	第2編　環境衛生 1章環境衛生の概要・空気環境	環境衛生の内容・目的・意義・活動 空気の成分と有毒ガス　温度・湿度・風と健康
4	第2編　環境衛生 1章衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物	衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物
5	第2編　環境衛生 1章衛生害虫とネズミ・環境保全	衛生害虫とネズミ・環境保全
6	まとめ	まとめを実施する。振り返り・解説
7	第3編　感染症 1章感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史、法律・感染症の分類
8	第3編　感染症 1章感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響

9	第3編　感染症 1章感染症の総論③	感染症の予防免疫と予防接種・予防のための3原則
10	第3編感染症 2章感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
11	第3編感染症 2章感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
12	第3編感染症 2章感染症の各論③	具体的な対策の例
13	まとめ	まとめを実施する。
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	第4編　衛生管理技術 1章消毒法総論	消毒法とは・消毒の意義 理美容の業務と消毒との関係・消毒法と適用上の注意
17	第4編　衛生管理技術 2章消毒法各論	理学的消毒法・化学的消毒法の消毒方法 消毒条件・特徴、すぐれた消毒法と実施上の注意
18	第4編　衛生管理技術 3章消毒法実習(1)	消毒液の濃度、希釈の方法、器具の使い方 各種消毒液の調整法と計算の仕方
19	第4編　衛生管理技術 3章消毒法実習(2)	消毒の原則、器具や布片の消毒と注意点 理美容所の清潔法の実際
20	第5編　衛生管理の実践例 1章衛生管理要領①	第1～第4　衛生的取り扱い等
21	第5編　衛生管理の実践例 1章衛生管理要領②	第1～第4　衛生的取り扱い等
22	第5編　衛生管理の実践例 1章衛生管理要領③	第5～第6　自主的管理体制
23	第5編　衛生管理の実践例 1章衛生管理要領④	第5～第6　自主的管理体制
24	まとめ	まとめを実施する。振り返り・解説
25	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
26	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
27	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
28	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
29	国試過去問演習	美容師国家試験過去問の演習と解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	香粧品化学		
必修選択	必修	(学則表記)	香粧品化学		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	香粧品化学		出版社	社）日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容器具や香粧品等に関する科学的知識を通し、美容を適切に行う能力と態度を育てる。　「美容保健」、及び「美容実習」と関連させながら、実際的な知識の習得する。
到達目標	美容の香粧品化学・美容機器・香粧品の適正な取扱いができるように、化学の基本原理や応用できる。
評価基準	テスト：５0%　小テスト：３０％　　授業態度：20%
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する

担当教員	相島　利絵	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション 1章　香粧品概論	先輩や講師自身の話をする　美容師免許を所得する上での必要性 取得までの流れを説明する　教科で一番興味を持ちそうな話をする（身近な薬剤の話など）
2	2章　香粧品原料	「香粧品の対象となる人体各部の性状」「水性原料」「油性原料の解説と演習
3	2章　香粧品原料	「油性原料」「界面活性剤」「高分子化合物」の解説と演習
4	2章　香粧品原料	「色材」「香料」「その他配合成分」「ネイル、まつ毛エクステンション用材料」の解説と演習
5	3章　基礎香粧品	「皮膚洗浄用香粧品」「化粧水」「クリーム・乳液」「その他の基礎香粧品」「メイクアップ用香粧品」の解説と演習
6	4章　メイクアップ用香粧品 5章　頭皮・毛髪用香粧品	「メイクアップ用化粧品の種類と剤形」「ベースメイクアップ化粧品」 「ポイントメイクアップ化粧品」の解説と演習　「シャンプー剤」「スタイリング剤」の解説と演習
7	まとめ	まとめを行う
8	5章　頭皮・毛髪用香粧品	「スタイリング剤」の解説と演習

9	5章　頭皮・毛髪用香粧品	「パーマ剤」の解説と演習
10	5章　頭皮・毛髪用香粧品	「ヘアカラー」の解説と演習
11	6章　芳香製品と特殊香粧品	「芳香・特殊香粧品」「特殊香粧品」の解説と演習
12	6章　芳香製品と特殊香粧品	「芳香・特殊香粧品」「特殊香粧品」の解説と演習
13	まとめ	まとめを行う
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	付録 香粧品化学を理解するための基礎化学 付録１～付録2	「物質の構成」「物質（水）の構成」の解説と演習
17	香粧品化学を理解するための基礎化学 付録3～付録5	「溶液とコロイド」「イオンと水素イオン指数」「物質の変化と化学反応」の解説と演習
18	香粧品化学を理解するための基礎化学 付録6～付録7	「酸化・還元反応」「タンパク質」の解説と演習　化学範囲の復習
19	香粧品化学	「香粧品分野」重点項目の復習と確認
20	香粧品化学	「香粧品分野」重点項目の復習と確認
21	香粧品化学	「香粧品分野」重点項目の復習と確認
22	香粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
23	香粧品化学	「化学分野」重点項目の復習と確認
24	まとめ	まとめを行う
25	国家試験対策	国家試験過去問の演習と解説
26	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
27	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
28	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
29	国家試験対策	国家試験対応問題の演習と解説
30	国家試験対策	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習ＩＩ－Ａ		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習ＩＩ－Ａ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	ワインディング教材一式　カッティング教材一式　衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル　美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業　試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する
評価基準	総まとめ３０％　まとめ２０％　提出物２０％　授業態度３０％
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格（実技）
関連科目	美容技術理論Ⅰ
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。

担当教員	渡辺　浩康	実務経験	○
実務内容	美容室で２年、有名ホテルでのブライダルヘアメイクを５年経験し、現在はフリーランスのヘアメイクアーティストとして活動。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション ワインディング カッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い）　１年次おさらい
2	ワインディング カッティング	ワインディング カッティング・美容師国家試験衛生
3	ワインディング カッティング	ワインディング カッティング・美容師国家試験衛生
4	ワインディング カッティング	ワインディング カッティング・美容師国家試験衛生
5	ワインディング カッティング	ワインディング カッティング・美容師国家試験衛生
6	ワインディング カッティング	ワインディング カッティング・美容師国家試験衛生
7	ワインディング カッティング	ワインディング カッティング・美容師国家試験衛生
8	ワインディング カッティング	ワインディング カッティング・美容師国家試験衛生

9	ワインディング　まとめ カッティング　まとめ	ワインディング・カッティング 美容師国家試験衛生　まとめを実施する
10	ワインディング カッティング	ワインディング・カッティング 美容師国家試験衛生
11	ワインディング カッティング	ワインディング・カッティング 美容師国家試験衛生
12	ワインディング カッティング	ワインディング・カッティング 美容師国家試験衛生
13	ワインディング カッティング	ワインディング・カッティング 美容師国家試験衛生
14	ワインディング・カッティング 総まとめを実施する	ワインディング・カッティング　総まとめを実施する 美容師国家試験衛生
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ－B		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅱ－B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	オールウエーブ教材一式　衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル　美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業　試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する
評価基準	総まとめ３０％　まとめ２０％　提出物２０％　授業態度３０％
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格（実技）
関連科目	美容技術理論Ⅰ
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。

担当教員	清水美喜	実務経験	○
実務内容	美容師・ヘアメイク・まつ毛エクステンションのスタイリストとして、約10年勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	初回授業オリエンテーション オールウエーブセッティング	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、美容師国家試験衛生（技術における衛生上の取り扱い） １年次おさらい　１段目～３段目、くりぬき（ウエーブ・リッジ）、計測２７分
2	オールウエーブセッティング	１年次おさらい　１段目～３段目、くりぬき（ウエーブ・リッジ）復習、計測２７分～２５分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール導入（手順、スライス、ピニング）、美容師国家試験衛生
3	オールウエーブセッティング	１段目～３段目、くり抜き復習、計測２５分～２０分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール復習、強化、計測各カール３分、美容師国家試験衛生
4	オールウエーブセッティング	１段目～３段目、くり抜き復習、計測２０分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール復習、強化、計測各カール３分、美容師国家試験衛生 ６段目メイポール導入
5	オールウエーブセッティング	１段目～３段目、くり抜き復習、計測２０分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール復習、強化、計測各カール３分、美容師国家試験衛生 ６段目メイポール導入
6	オールウエーブセッティング	１段目～３段目、くり抜き復習、計測２０分～１７分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール復習、強化、計測各カール３分、美容師国家試験衛生 ６段目メイポール復習、強化、７段目クロッキノールカール導入
7	オールウエーブセッティング	１段目～３段目、くり抜き復習、計測２０分～１７分 ４段目 右リフトカール、５段目左リフトカール復習、強化、計測各カール３分、美容師国家試験衛生 ６段目メイポール、７段目クロッキノールカール復習、強化、７段構成全体のバランス
8	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティングまとめを実施する １段目～３段目、くり抜き、４段目右リフトカール、５段目左リフトカール計測２６分 ６段目メイポール、７段目クロッキノールカール復習、強化、計測、７段構成全体のバランス、美容師国家試験衛生

9	オールウエーブセッティング	7段構成全体のバランス、各段、各カール再復習、計測4段目～7段目カール１２分 7段構成 計測３５～３０分、美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング	7段構成 計測３５～３０分 美容師国家試験衛生
11	オールウエーブセッティング	7段構成３０～２５分 美容師国家試験衛生
12	オールウエーブセッティング	7段構成３０～２５分 美容師国家試験衛生
13	オールウエーブセッティング	7段構成２５分 美容師国家試験衛生
14	オールウエーブセッティング 総まとめ	7段構成２５分 総まとめを実施する
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ－C		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅱ－C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式　カッティング教材一式　衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル　美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業　時間内に合格基準を満たす技術を習得する		
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する		
評価基準	総まとめ３０％　まとめ２０％　提出物２０％　授業態度３０％		
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。		
担当教員	渡辺　浩康	実務経験	○
実務内容	美容室で２年、有名ホテルでのブライダルヘアメイクを５年経験し、現在はフリーランスのヘアメイクアーティストとして活動。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ワインディング カッティング	ワインディング・カッティング 美容師国家試験衛生
2	ワインディング カッティング	ワインディング・カッティング 美容師国家試験衛生
3	ワインディング カッティング	ワインディング・カッティング 美容師国家試験衛生
4	ワインディング　まとめ カッティング　まとめ	ワインディング・カッティング　まとめを実施する 美容師国家試験衛生
5	ワインディング カッティング	ワインディング・カッティング 美容師国家試験衛生
6	ワインディング カッティング	ワインディング・カッティング 美容師国家試験衛生
7	ワインディング カッティング	ワインディング・カッティング 美容師国家試験衛生
8	ワインディング カッティング	ワインディング・カッティング 美容師国家試験衛生

9	ワインディング カッティング	ワインディング・カッティング 美容師国家試験衛生
10	ワインディング カッティング	ワインディング・カッティング 美容師国家試験衛生
11	ワインディング カッティング	ワインディング・カッティング 美容師国家試験衛生
12	ワインディング　総まとめ カッティング　総まとめ	ワインディング・カッティング 総まとめを実施する 美容師国家試験衛生
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ－D		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅱ－D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	オールウエーブ教材一式　シャンプー教材一式　衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル　美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験合格に向けた授業　試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する
到達目標	美容師国家試験合格レベルの技術と国家試験衛生を習得する
評価基準	総まとめ３０％　まとめ２０％　提出物２０％　授業態度３０％
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格（実技）
関連科目	美容技術理論Ⅰ
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。

担当教員	清水美喜	実務経験	○
実務内容	美容師・ヘアメイク・まつ毛エクステンションのスタイリストとして、約10年勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
2	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
3	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
4	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
5	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
6	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
7	オールウエーブセッティング　まとめ シャンプーイング　まとめ	オールウエーブセッティング・シャンプーイング　まとめを実施する 美容師国家試験衛生
8	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生

9	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
10	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
11	オールウエーブセッティング シャンプーイング	オールウエーブセッティング・シャンプーイング 美容師国家試験衛生
12	オールウエーブセッティング　総まとめ シャンプーイング　総まとめ	オールウエーブセッティング・シャンプーイング　総まとめを実施する 美容師国家試験衛生
13	総合授業	総合的授業を実施する
14	総合授業	総合的授業を実施する
15	総合授業	総合的授業を実施する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅱ－E		
必修選択	必修	（学則表記）	美容実習Ⅱ－E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ワインディングまたはオールウエーブ教材一式・カッティング教材一式 衛生教材一式　　改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル　美容実習ノート		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験 実技試験合格に向けた授業　試験時間内に合格基準を満たす技術を習得する
到達目標	美容師国家試験 第１課題・第２課題・国家試験衛生合格レベルを習得する
評価基準	総まとめ４０％　まとめ３０％　授業態度３０％
認定条件	・出席が総時間数の５分の４以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格（実技）
関連科目	美容技術理論Ⅰ
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。
担当教員	清水美喜
実務経験	○
実務内容	美容師・ヘアメイク・まつ毛エクステンションのスタイリストとして、約10年勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
2	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
3	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
4	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
5	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
6	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
7	国家試験第１課題・第２課題 まとめ	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生　まとめを実施する
8	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生

9	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
10	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
11	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
12	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
13	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
14	国家試験第１課題・第２課題	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生
15	国家試験第１課題・第２課題 総まとめ	国家試験第１課題・第２課題・美容師国家試験衛生　総まとめを実施する

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	着付け		
必修選択	必修	(学則表記)	着付け		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	2	60
使用教材	教本・ゆかた本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも・長襦袢・和装スリップ・クリップ（2点セット）足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②	
授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 ・着付け３級（６月強制受験　免許強制） ・着付け２級（１２月強制受験　免許任意）
評価基準	検定試験：４０％　　テスト：３０％　　授業態度：３０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	一般財団法人京都きもの伝承文化協会きもの着付け資格
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する

担当教員	小野麻紀子	実務経験	○
実務内容	ハウス・レストランウエディングでの各種着付け、広告等スチール撮影での各種着付けを担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開		
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方１	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方２	小紋の着付（裾線、衿合せ）、たたみ方を学び実践する

4	小紋の着せ方３	小紋の着付（お端折の作り方）を学び実践する
5	小紋の着せ方４	半幅帯（蝶結び）の結び方を学び実践する 小テスト（着物の名称）を実施する
6	小紋の着せ方５	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
7	小紋の着せ方６	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
8	小紋の着せ方７	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	着付け３級検定（小紋の着付と蝶結び（２０分））を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学１	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	座学２	着物のTPO（プリント③④）について
14	座学３	着物の知識（ﾌﾟﾘﾝﾄ⑥～⑨）について
15	総合学習	小紋の着付（お太鼓結び）と総まとめを行う
16	振袖の着せ方１	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入 補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
17	振袖の着せ方２	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
18	振袖の着せ方３	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
19	振袖の着せ方４	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
20	振袖の着せ方５	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
21	振袖の着せ方６	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
22	振袖の着せ方７	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
23	振袖の着せ方８	振袖の着付を仕上げる（検定対策）
24	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて

25	検定試験	きもの着付け２級検定試験（振袖にふくら雀３０分）を実施する
26	留袖の着せ方１	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
27	留袖の着せ方２	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
28	紋服の着せ方	紋服について、紋服の着せ方について学び実践する たたみ方について
29	女袴の着せ方	女袴の着せ方について学び実践する
30	総合学習	国家試験対策として総まとめのテストを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅱ		
必修選択	必修	(学則表記)	就職対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	1	30
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社ADE CREATES	

科目の基礎情報②

授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材。		
到達目標	希望の就職先に内定		
評価基準	テスト：10%　提出物・課題：50%　授業態度：40%		
認定条件	出席が総時間数3分の２以上ある者 成績評価が２以上のもの		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	清水美喜	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	夢	2年生になって、ここからの目標・学校生活、就職について
2	人間力	人間関係の構築・就職活動（GWの課題）
3	人間力	集団行動の大切さ・就職活動の課題
4	夢	企業研究
5	人間力	プレゼンテーション・グループディスカッション
6	人間力	チームワーク（熱い動画）
7	夢	美容業界リサーチ

8	人間力・夢	就職先リサーチ・ディスカッション
9	人間力	チームワークとやりきる力
10	人間力	行事を通してのクラス、学年の団結の振り返りとこの先へ向けて
11	夢	美容業界の知識を深める
12	夢	若手実業家（動画）
13	夢	企業研究・話す力・聴く力、夏休みの課題について
14	夢	課題のプレゼンテーション
15	人間力	前期の振り返り（目標達成度の確認）
16	人間力	オリエンテーション（なりたい自分に向けて） レクレーション
17	人間力	担任の想い
18	夢	一般常識
19	夢	社会人として求められているもの
20	人間力	愛される人材とは
21	人間力	メンタルトレーニング①
22	人間力	メンタルトレーニング②
23	夢	企業研究
24	人間力	感謝の気持ち
25	夢	企業研究
26	夢	CASEスタディ①
27	夢	CASEスタディ②
28	人間力	卒業してからの自分を想像する
29	夢	企業研究の総まとめ
30	夢	2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ－A		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ－A		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	ウィッグ、カット教材一式、カラー教材一式、ワインディング教材一式、ドライヤー、ブラシ類、スタイリング剤		出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	パーマネントウェーブの理論を学び薬剤の特徴、仕上がり、使用目的に応じた使い方を学ぶ コンテストにおいて必要なテクニックやカラーデザインを身に付け、デザインに応じたスタイル作成
到達目標	デザインに必要な要素を取り入れて作品を完成させる
評価基準	テスト30%　小テスト20%　提出物20%　授業態度30%
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(任意)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)
関連科目	美容実践Ⅰ－A　美容技術理論Ⅰ
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する

担当教員	鈴木　学　古屋　有紀	実務経験	○
実務内容	【鈴木】美容室にて店長を経験後、オーナーとして2店舗を展開。現在も美容師として現場で活躍中。 【古屋】大手化粧品会社、結婚式場などでメイクを担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	パーマネントウェーブ理論	理論を理解した上で、デザイン巻　平巻き・縦巻き
2	パーマネントウェーブ理論	実際にコールド液を使用　巻き方、ロッド、ピンパーマの仕上がりの違い等
3	パーマネントウェーブ理論 小テスト	実際にコールド液を使用　巻き方（平巻き・縦巻き）、ロッド、ピンパーマの仕上がりの違い等 スパイラル・ツイスト・ストレートパーマ　　巻き方小テストを実施する
4	コンテスト技術／カッティング	コンテストデザインに合わせカッティング、応用カッティング技術
5	コンテスト技術／カッティング	コンテストデザインに合わせカッティング、応用カッティング技術
6	コンテスト技術／カッティング	コンテストデザインに合わせカッティング、応用カッティング技術
7	コンテスト技術／カラーリング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
8	コンテスト技術／カラーリング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術

9	コンテスト技術／カラーリング	コンテストデザインに合わせカラーリング、応用カラーリング技術
10	総合授業	作品制作
11	総合授業	作品制作
12	総合授業	作品制作
13	総合授業	作品制作
14	テスト	テストを実施する
15	総合授業	前期振り返り
16	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
22	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(問題集にて検定対策を行う)
23	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
25	錯覚	錯覚について導入、実践
26	色、質感	色、質感について導入、実践
27	色、質感	色、質感について導入、実践
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ－B		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ－B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック・問題集 スマホアプリ(VOGUERUNWAY等)、 雑誌（VOGUE/MODE ET MODE 等）		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	特殊➡ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする メイク➡スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。
到達目標	特殊➡トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる メイク➡スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。 人にメイクが出来るようになる。
評価基準	特殊(テスト30%、提出物10%　授業意欲10%) メイク(テスト30%、提出物10%　授業意欲10%)
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、メイクアップ検定アドヴァンス検定(任意)
関連科目	美容実践Ⅰ－B
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する（ベーシックメイク）＋（特殊・アーティスト・モデルメイク）

担当教員	古屋　有紀　甲斐切　直美	実務経験	○
実務内容	【古屋】大手化粧品会社、結婚式場などでメイクを担当。 【甲斐切】ブライダル、芸能、ヘアメイク、舞台ヘアメイク他、ヘアメイクアップアーティストとして活動。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーションベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	年代別のメイク①	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
4	年代別のメイク②	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
5	年代別のメイク③	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
6	年代別のメイク④	古代～現代までの代表的なメイクアップのテクニックと特徴を実践する 各年代ごとにのメイクの歴史と特徴や特徴や当時の代表的な女優等のメイクを学ぶ
7	年代別のメイク⑤	テスト、振り返り
8	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践)テーマに合わせて行う

9	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践)テーマに合わせて行う
10	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(実践)テーマに合わせて行う
11	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(テスト)テーマに合わせて行う
12	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
13	作品制作①	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
14	作品制作②	自分でヘアメイクのデザインを考える、デッサン画を作成し衣装や小物等も考える
15	総合授業	まとめを行う
16	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
22	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(問題集にて検定対策を行う)
23	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
25	錯覚	錯覚について導入、実践
26	色、質感	色、質感について導入、実践
27	色、質感	色、質感について導入、実践
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容実践Ⅱ－C		
必修選択	選択	(学則表記)	美容実践Ⅱ－C		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	3	90
使用教材	エステ➡教科書・クリエーヌ化粧品セット・タオル類・消耗品類 メイク➡メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック・問題集		出版社	エステ➡日本エステティック協会、 日本理容美容教育センター メイク➡ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステ➡身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。メイク➡スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。
到達目標	エステ➡ホスピタリティーの実践、基礎的なフェイシャル・ボディの技術を提供できるようになる。 メイク➡スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。 人にメイクが出来るようになる。
評価基準	エステ(実技試験40%(フェイシャル20%・ボディ20%)授業態度・提出物10%) メイク(テスト30%、提出物10%　授業意欲10%)
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(強制)、ブライダルメイク検定(任意) 認定フェイシャルエステティシャン、認定ボディエステティシャン
関連科目	美容実践Ⅰ－C
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する（ベーシックメイク）＋（ブライダルエステ）

担当教員	古屋　有紀　　福羅　愛艶	実務経験	○
実務内容	【古屋】大手化粧品会社、結婚式場などでメイクを担当。 【福羅】エステティシャンとしてトータルビューティーサロンに3年勤務。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ボディエステティックとは	1コマ：教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 1コマ：１．ボディエステティックの目的と効果 ２．ボディエステティックの流れ
2	接客マナー（相モデル）	1コマ：ベッドセッティング 1コマ:：笑顔・あいさつ身だしなみ・言葉づかい 1コマ：基本動作・ベッド誘導
3	前操作（相モデル）	ボディトリートメント/手の使用部位 流れ　前操作デモ・練習
4	ボディマッサージ 下肢後面　1	デモ（塗布から） 手技練習・拭取り練習
5	ボディマッサージ 下肢後面　2	前操作～ 下肢後面通し練習
6	ボディマッサージ 下肢後面　3	前操作～ 下肢後面通し練習
7	ボディ実技試験 成績評価①	ご案内－消毒－下肢後面マッサージ－ふき取り－誘導　×２クール～4クール人数に応じて　※相モデル
8	フェイシャルエステティックとは 接客マナー（相モデル）	1コマ：１．フェイシャルエステティックの目的と効果 ２．フェイシャルエステティックの流れ 1コマ：事前準備・基本動作・ベッド誘導

9	フェイシャルマッサージ　1	マッサージ導入・デモ ご案内－デコルテ１～７(美容技術)－HOTタオルふき取り(技術編Ｉプリント)
10	フェイシャルマッサージ　2	マッサージ導入・デモ ご案内－フェイシャル１～11(美容技術)－HOTタオルふき取り(技術編Ｉプリント)
11	フェイシャルマッサージ　3	クレンジング導入・デモ ご案内－全体クレンジング(ポイントなし)～マッサージ・ふき取り－整肌
12	フェイシャルマッサージ　4	通し練習　ご案内－フェイシャルクレンジング(技術編Ｉプリント)―マッサージ―ふき取り―整肌－誘導
13	フェイシャル実技試験 成績評価②	ご案内－フェイシャルクレンジング―マッサージ―ふき取り―整肌－誘導
14	マッサージ総合・マスク	1コマ：デモマスク塗布・ふき取り 通し練習　ご案内－消毒－クレンジング―マッサージ―マスク－ふき取り―整肌－誘導
15	総合授業	総まとめを行う
16	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
22	苦手克服	フルメイク(自分の苦手な場所を意識的に行う) 座学(問題集にて検定対策を行う)
23	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク35分行う テスト扱いとする
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践
25	錯覚	錯覚について導入、実践
26	色、質感	色、質感について導入、実践
27	色、質感	色、質感について導入、実践
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークA		
必修選択	選択	（学則表記）	サロンワークA		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	カットマスター		出版社	ヘアモード社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブラントカットの基本を身につけ、カットの楽しさを知り美容師のはかりしきれない魅了に触れてもらうこと。
到達目標	サスーンカット（ブラントカット）基本のワンレン・グラデーション・レイヤーを理解し最低限の習得を目標とする。
評価基準	テスト３０％　小テスト２０％　提出物２０％　授業態度３０％
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者
関連資格	美容師国家資格（実技）
関連科目	美容実習
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。
担当教員	清水美喜　／　実務経験　○
実務内容	美容師・ヘアメイク・まつ毛エクステンションのスタイリストとして、約10年勤務

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション～カット１	2020オリエンテーション～サイドグラデーション（カットマスターP24~28)両サイドまで
2	カット２	サイドグラデーションスタイルチェンジ～フロントインナーカラー（三角セクション）
3	レイヤーカット１	ワンレングス～スクエアレイヤーロング
4	レイヤーカット２	マッシュウルフスタイル　（スイープテクニックを使って頭の丸みに添ったレイヤーを入れる
5	レイヤーアレンジ３	マッシュウルフスタイルをパーマスタイルにアレンジ
6	テスト１	ベーシックワンレングス テスト終了後ワンレングスにスクエアのレイヤーを入れスタイルチェンジ
7	カラー１	相モデルでカラー＆スタイリング＆撮影　（テーマ　似合わせ）
8	ショートヘア１	ワンレングス～バイアステクニック

9	ショートヘア２	バイアストップセクションにホイルワークでデザインカラー
10	スタイル作成	ワンレン〜グラデーションボブ
11	スタイル作成	グラデーションボブ〜インサイドアウト（ラウンドグラデーション　ラウンドレイヤー）
12	スタイル作成	メンズスタイル
13	テスト２	ウィッグ仕込　カラー　パーマ　展示図
14	卒業制作	卒業作品制作
15	総まとめ	総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	演習	科目名	サロンワークＢ		
必修選択	選択	（学則表記）	サロンワークＢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	Lian一式		出版社	日本理美容教育センター	

科目の基礎情報②			
授業のねらい	まつ毛エクステンションの技術を取得し、資格取得を目指す		
到達目標	資格取得及び、サロン業務においての基礎的技術を習得する		
評価基準	テスト３０％　小テスト２０％　提出物２０％　授業態度３０％		
認定条件	・出席が総時間数の３分の２以上ある者 ・成績評価が２以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）ABEまつ毛エクステンション		
関連科目	美容実習		
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。		
担当教員	岡市　貴美子	実務経験	○
実務内容	アイラッシュ専門店にて６年勤務後、独立開業し様々なコンテストで入賞。コンテストの審査員も務める。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 理論	道具説明　まつ毛エクステンション概論
2	理論	まつ毛エクステンションの道具
3	実習	まつ毛のかき分け　Jカールの装着　事前準備
4	理論	衛生管理
5	実習	Jカールの装着
6	理論	保健（皮膚に関する知識）
7	理論	保健（毛髪に関する知識）

8	実習	Jカールの装着
9	理論	保健（眼に関する知識）
10	実習	テーピングデモンストレーション及び実習　Jカールの装着
11	理論	カウンセリング
12	まとめ	筆記試験　模擬試験
13	実習	テーピングから装着まで　リムービング実習
14	まとめ	筆記試験　模擬試験
15	総まとめ	タイムトライアル

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロンワークC		
必修選択	選択	（学則表記）	サロンワークC		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	美容科	4	120
使用教材	JNA　テクニカルシステム　ベーシック メイク道具一式		出版社	ＪＮＡ	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ネイルについて歴史などの背景から始まり各部名称や病気・消毒法などを理解し、基礎的なマニキュア技術を実践できる ブライダルの基本知識を現場を意識しながら実践する
到達目標	ネイルの基礎知識及び技術を理解し実践でき、ＪＮＥＣ３級レベルをマスター ブライダルの基礎知識を理解し実践でできるようにする
評価基準	ネイル（小テスト30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%）、 ブライダル（実技テスト50%、提出物25%　授業態度等25%）
認定条件	ネイル（出席が総時間数の３分の２以上ある者、成績評価が２以上の者） ブライダル（出席が総時間数の3分2以上ある者成績評価が２以上の者）
関連資格	JNECネイリスト検定3級、ブライダルメイクアップ検定(任意)
関連科目	
備考	原則、この科目は対面授業にて実施する。

担当教員	清水美喜	実務経験		
実務内容				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元		内容
1	ネイル	導入・教材配布・ テーブルセッティング	教材確認及び名称・用途説明 検定を意識したテーブルセッティング・ケアカラーとは何かを学ぶ
	メイク	オリエンテーション	ブライダルヘアメイクとは　　ブライダル用語の説明
2	ネイル	爪の構造　　ファイリング実技 （トレーニングハンド）	爪の各部名称を覚える　エメリーボードの持ち方、 支え方、角度、動かし方など様々なカットスタイルをマスターする
	メイク	挙式について	挙式の種類の説明
3	ネイル	ケアデモ　ケア実技	手順と用具の使用法を学ぶ　　ウッドスティック削り・コットンの巻き方
	メイク	小物・ドレスについて	小物・ドレスラインの説明
4	ネイル	消毒法　ファイリング・バッフィング実技（ハンド・相モデル）	ネイル技術における消毒法などを学ぶ
	メイク	ネックライン・ブーケについて	ネックライン・ブーケの種類の説明
5	ネイル	ケア実技(相モデル)	ケア手順をマスターする
	メイク	ヘアアクセサリーについて	髪飾り・ベールの説明　　装着方法の説明
6	ネイル	カラーリング・オフ　デモ シート実技	カラーリングをマスターする
	メイク	ブライダル検定について	ブライダル検定イメージ（ナチュラル）について
7	ネイル	カラーリング　　、相モデル実技	カラーリングをマスターする
	メイク	ブライダル検定について	ブライダル検定イメージ（スイート）について

8	ネイル	ケア～カラーリング～ ポリッシュリムーブ実技	ケア・カラー手順をマスターする
	メイク	ブライダル検定について	ブライダル検定イメージ（ロマンティック・POP）について
9	ネイル	フラットアート講義・デモ 実技(アクリル絵の具)	3級検定用アートなどの基本のアートを学ぶ チップにラウンド・カラー・アートの宿題
	メイク	ブライダル検定について	ブライダル検定イメージ（フェミニン・ラグジュアリ）について
10	ネイル	爪の病気とトラブル・カウンセリング　検定説明	爪のトラブルを覚え、カウンセリングの必要性を学ぶ ＪNEC３級検定受験についての説明
	メイク	ブライダル検定について	ブライダル検定イメージ（クール・クラシカル）について
11	ネイル	ケア・カラー・アート実技	検定技術をマスターする　　※３級検定受験者には チップにラウンド・カラー・アートの宿題
	メイク	ブライダル検定について	ブライダル検定筆記対策
12	ネイル	ケア・カラー・アート実技	検定技術をマスターする　　※３級検定受験者には チップにラウンド・カラー・アートの宿題
	メイク	ブライダル検定について	ブライダル検定筆記対策
13	ネイル	筆記試験、ケア･カラー実技	筆記試験　　ＪNEC３級検定受験内容に準じる
	メイク	ブライダル検定について	ブライダル検定筆記対策
14	ネイル	実技テスト	実技試験　　ＪNEC３級検定受験内容に準じる
	メイク	列席について	列席マナーの説明
15	ネイル	総合授業	総まとめを行う
	メイク	総合授業	総まとめを行う